

学 則

1 事業者の名称及び所在地	社会福祉法人 海老名市社会福祉協議会 〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬 175-1
2 研修事業の名称	介護職員初任者研修 通信課程
3 研修課程及び形式	介護職員初任者研修課程 (通学・ 通信)
4 開講の目的	少子高齢化の進行により、介護現場における労働人口が減少し、海老名市においても福祉・介護人材の確保が喫緊の課題となっております。 介護職員としての必要な知識及び技術を習得し、適切なサービスを提供できる人材を育成し、介護現場における人材の安定的な確保を図ることを目的とする。
5 研修責任者及び研修コーディネーターの氏名 研修担当部署 研修担当者及び連絡先	研修責任者 加藤 淳 研修コーディネーター 加藤 淳 研修担当部署 総務企画グループ 研修担当 加藤 淳 事業所：海老名市めぐみ町6-3 電話番号：046-232-1600
6 受講対象者(受講資格)及び定員	<ul style="list-style-type: none"> ・満16歳以上で、海老名市内在住・在勤の方で研修の全日程を受講できる方 ・修了後、訪問介護事業所、介護施設等への就労を希望する方。 (既に介護の職に就職していて介護資格未取得者を含む) ・定員20名
7 募集方法(募集開始時期・受講決定方法を含む) 受講手続及び本人確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・一般公募する 開講日の原則1か月前より募集開始し、市広報紙・当会ホームページ等に募集広告を掲載する。 ・受講案内(学則含む)と申込書については、本会事務局にて配布又はインターネットからダウンロードのいずれかの方法で取得する。 ・申し込みは先着順とし、申込書と受講料を添えて、本会事務局へ申し込む。その際、公的証明書(免許書等)原本の確認とコピーをとり、本人確認を行う。また、学生には学生証の原本の確認及びコピーし、本人確認を行う。
8 受講料、テキスト代 その他必要な費用	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 47,700円 【内訳】受講料40,000円、テキスト代7,124円、保険料576円 ・学生(高校生、大学生)及び1人親世帯 7,700円 【内訳】受講料0円、テキスト代7,124円、保険料576円 ※研修にかかる交通費、食事代は受講者の負担となります。
9 研修カリキュラム	別紙研修カリキュラムのとおり
10 通信形式の場合 その実施方法 ・添削指導及び面接指導の実施方法 ・評価方法及び認定基準 ・自宅学習中の質疑等への対応方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「職務の理解」の授業終了後、通信添削課題を配布。提出締切を3回に分けて添削指導を行う。添削指導結果は解説・講師コメントを加えて返送する。 ・添削指導の認定基準は、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分で評価し、C以上を基準と満たしたものとして認定する。 A=90点以上 B=80~89点以上 C=70~79点以上 D=70点未満 基準に満たなかった者については、追加課題を課し再度評価を行う。 ・面接指導…添削指導を行った後、当該科目の通学授業の際に通信学習課題の解説や質疑応答を行う。 ・自宅学習中の質疑等はFAX、メールで受付け、担当講師が回答する。

11 研修会場 (名称及び所在地)	海老名市立総合福祉会館 〒243-0438 神奈川県海老名市めぐみ町 6-3
12 使用テキスト (副教材も含む)	一般財団法人 長寿社会開発センター 出版事業部 二訂 介護職員初任者研修テキスト 全3巻
13 研修修了の認定方法 (習得度評価方法含む)	<p>(1) 技術演習における習得度評価 「こころとからだのしくみと生活支援技術」の次の項目について、各演習時間内で技術習得度の評価を行う。チェックリストにより A～C の3区分で技術習得度の評価を行い、A 及び B の者を一定レベルに達している者とする。</p> <p>⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑬総合生活支援技術演習 (評価区分) A: 基本的な介護(介助)が的確にできる B: 基本的な介護(介助)が概ねできる C: 全くできない</p> <p>(2) 全科目の修了時に、1時間 30 分の筆記試験による修了評価を実施する。 次の評価基準により C 以上を評価基準を満たしたものとして認定する。 A=90 点以上 B=80～89 点 C=70～79 点 D=70 点未満</p> <p>(3) 通学のカリキュラムを全て出席し、通信添削課題が認定基準を超えており、上記(1)及び(2)において認定基準を超えている受講者に対し修了証明書を発行する。</p> <p>(4) 修了評価試験で基準以下の時の取り扱い 担当講師の補講の上、再試験を実施する。 補講は1時間につき 3,000 円を、再試験は 2,000 円を受講者負担とする。</p> <p>(5) 筆記再試験において、なお基準以下の場合、修了証明書は発行されない。</p>
14 欠席者の取り扱い(遅刻・早退の扱い含む) 補講の取り扱い (実施方法及び費用等)	<p>(1) 原則 10 分以上の遅刻・早退は欠席とする。</p> <p>(2) 研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、補講を行う。 補講の実施は、原則として他の事業者が行う同研修を受講することにより行う。</p> <p>(3) 補講は1時間につき 3,000 円を受講者負担とする。</p> <p>(4) 実習は、別途実習先と調整の上、新しく実習日を設け行う。</p>
15 科目免除の取り扱いとその手続き方法	<p>実習先として認められている施設・事業所において過去 3 年間に 1 年以上(通算 180 日以上)の実務経験がある者について、実習を免除する。 受講料の減額はなし</p> <p>介護に関する入門的研修(基礎・入門講座)修了者に関しては、以下の科目免除あり。</p> <p>3 介護の基本 6① 老化に伴うこころとからだの変化と日常</p>

	<p>6② 高齢者と健康</p> <p>7① 認知症を取り巻く状況</p> <p>7② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理</p> <p>7③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常</p> <p>7④ 家族への支援</p> <p>受講料の減額はなし</p>
16 解約条件及び返金の有無	<p>(1)受講者からのキャンセル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講日の1週間前から開講日の前日までは全額返金 ・開講後の退校については、受講料は返金しない。 <p>(2)本会からのキャンセル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度不良等による退講処分の場合は受講料の返金はしない。
17 情報開示の方法 (ホームページアドレス等)	<p>当法人ホームページにて、以下の内容を情報開示する。</p> <p>アドレス: http://www.ebina-shakyo.or.jp/</p> <p>(1)研修機関情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人情報:法人格、法人名、住所、代表者名、法人事業概要、法人財務情報、併設の介護保険事業所や介護施設の事業概要など ・研修機関情報:研修部署の名称、研修事業担当理事名、住所、理念、学則、研修施設と設備など ・研修事業情報:募集対象、研修スケジュール、定員、募集～受講までの流れ、費用、留意点など、研修カリキュラム、担当講師名、修了評価の方法、実習施設情報など <p>(3)講師情報:講師名、講師略歴・資格・現職など</p> <p>(4)実績情報:過去の研修実施回数、参加人数など</p> <p>(5)連絡先等:申込、資料請求、苦情連絡先など</p>
18 受講者の個人情報の取り扱い	<p>受講者の個人情報については適正に管理し、本研修実施に係る目的にのみ使用する。</p> <p>なお、修了者名簿は介護保険法施行令第3条第2項イの規定により県に提出する。</p>
19 修了証明書を亡失・き損した場合の取扱い	<p>亡失・き損した場合は、受講者本人の申請により再交付する。</p> <p>手数料 無料 (但し、修了証明書郵送用の120円切手を申請書に添えて申請すること。)</p>
20 その他研修実施に係る留意事項	<p>1. 退講処分の取り扱いについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学習意欲に著しく欠け、修了の見込みが無いと認められる場合は本人と面接し合意の上で退講の手続きを取る。 2) 研修の秩序を乱し、他の受講生の授業の妨げとなると法人側が判断した場合、本人の合意の下退校手続きをとる。 <p>2. 修了証明書が発行されない場合、受講料は返却しない。</p>